

～緊急時における「危機対応力」を習得する～ 「防災訓練基礎講座」

2026

11/12 (木) ～ 13 (金)

各日 9:00～17:20

(JANSI (原子力安全推進協会) で実施している
「危機管理研修 (3日間)」を2日間に集約)

会場 六ヶ所村 (青森県量子科学センター)

対象層 原子力関連企業従事者、行政等防災関係者
(若年層～管理する立場の方(現場指揮者など))
※希望者はどなたでも可

定員 20名

《研修の特徴》

原子力災害のみならず、自然災害等
あらゆる緊急時の場面で活かされます

原子力施設における過酷災害 (以下、シビアアクシデント) 発生時には、それぞれ担当の持ち場で対応するためのテクニカルスキルに加え、組織やチームを統括することや安全管理の手法、また情報の共有方法や指揮者の意思決定などノンテクニカルスキルが必要となる。本研修は、このノンテクニカルスキルを日々の消防訓練や災害活動で磨いているプロフェッショナルである消防機関が長年にわたって培った訓練技法をもとに開発。講師が主導し喧噪状態を演出し、異常心理下での図上演習で「脳に汗をかき」、受講生自らが原子力災害時の組織統括法を体得できるカリキュラムで構成した研修です。

講師

元東京消防庁警防部長
佐藤 康雄 氏ほか



その他 講師紹介

一般財団法人
消防防災科学センター

永井 逸朗氏／飯田 稔氏／
内山 徹氏／関 政彦氏

多くの災害指揮経験を有する東京消防庁の元幹部。現在、
(一社) 原子力安全推進協会 (JANSI) 主催の危機管理研修の講師を務めています。



東日本大震災の際、福島第一原発の燃料棒貯蔵プールに充水した東京消防庁のハイパーレスキュー総隊長としてご活躍。その経験談も交えた研修内容です。

■お問合せ／申込先: 青森原燃テクノロジーセンター

TEL: 0175-63-4671 FAX: 0175-63-4681 (受付: 平日 8:40～17:20まで)

■ 申込締切 2026年10月22日 (木)

(注1) 受講制限 : 申込多数の場合は抽選となります

(注2) 受講確定の案内: 受講決定のご案内は募集締め切り後約 1 週間以内を目処に文書または電話にてご連絡いたします。

セミナー詳細

福島第一原子力発電所事故に対応した東京消防庁の元職員が、**現場での具体的行動や指揮のやり方など**をきめ細かく、実践的に指導。

時間	内 容
【1日目】 9 : 00	1.オリエンテーション 2.更なる安全を目指して 3.災害時の心理と惨事ストレス 4.状況把握トレーニング 5.情報マネジメント 6.同時多発災害に学ぶ部隊統括
17 : 20	
【2日目】 9 : 00	1.前日の振り返り 2.特殊災害対応トレーニング ①基礎講座 ②基礎訓練 (Drill) ③実践訓練 (Exercise1, 2) 3.研修の総括 4.全体振り返り 5.閉講
17 : 20	



シビアアクシデント時の喧騒状態を演出し、それぞれの役割をどう全うするか、また、どのように統制を取り、情報管理、部隊管理、安全管理を行うのかを実践します。

研修終了後の受講者の声

研修を通して、自分の記憶力の曖昧さやうまく言葉で伝えることが出来ない難しさを実感した。先入観にとらわれないことの大事さが良く分かった。

危機に対応する、リスクマネジメント(リスクアセスメント)は普段作業前に必ず実施しているのでなじみ深く理解していたが、リスクマネジメントで予測できなかったことへの対応について勉強になった。

原子力災害のみならず、あらゆる緊急場面で活かすことができる内容であった。リーダー層から若手まで参考になると思う。多くの人に受講してもらいたい。

※写真は過去に実施した際の研修の様子

自らとグループの行動、言動を振り返る有意義なディスカッション

佐藤講師による
受講者へのフィードバック
(全体総括)



■ 申込方法… <http://www.agtcinc.co.jp>

(株)青森原燃テクノロジーセンターホームページよりお申込ください。

■ 昼 食…各自ご準備ください。

青森原燃

検索



安全性向上
原子力人材育成
からお申込み